

新制同窓会10年史

堀川同窓会では平成27年、同窓会組織体制を再構築いたしました。
その際、その年の同窓会の企画運営を還暦を迎える学年に担当して戴くことといたしました。
還暦学年から実行委員長・副委員長を選出し、当該学年から数名の実行委員を選出して戴き実行委員会を設立し、同窓会の企画運営を担当して戴いています。

平成27年にスタートした新制同窓会も本年10周年を迎えます。
ここに、新制同窓会10年の歩をご紹介します。

第106回 (2014年)	担当学年	高25期	実行委員	中村一郎	竹田賢司	長谷川ユリ (久保)
第107回 (2015年)	担当学年	高26期	実行委員	大八木一寿	肝付容子 (服部)	
第108回 (2016年)	担当学年	高27期	実行委員	上田孝	下出康広	
第109回 (2017年)	担当学年	高28期	実行委員	荒木康博	生田誠	
第110回 (2018年)	担当学年	高29期	実行委員	北村勝信	塩釜和己	
第111回 (2019年)	担当学年	高30期	実行委員	伊藤文彰	新実彰男	
第112回 (2020年)	コロナ禍のため中止					
第113回 (2021年)	担当学年	高31期	実行委員	吉村伸	中井いづみ (中川)	
第114回 (2022年)	担当学年	高32期	実行委員	川瀬浩史	熊尾律子	
第115回 (2023年)	担当学年	高33期	実行委員	松井隆史	大野朝代 (桑原)	佐々剛
第116回 (2024年)	担当学年	高34期	実行委員	山崎良一	高島知江	

2014年にスタートした還暦担当制は、2020年のコロナ禍中止により、還暦+1学年となりましたが、今年も、これからもバトンは継承されていきます。

【新制同窓会発足、初年度にあたり】

堀川高校25期卒業の長谷川ユリ (久保) です。

同窓会と同窓会誌の編集を、その年に還暦を迎える卒業生が担当するという、新体制の初回として、106周年、2014年の同窓会事業を同期の仲間12名で担当しました。

私自身は、同窓会が本格的に始動した100周年事業の時に、別の会でたまたま知り合った先輩の小森マリさん (100周年事業実行副委員長であり現在同窓会相談役) に声をかけられ、佐渡裕さんが指揮をされるイベントに魅力を感じお手伝いをさせて頂きました。

それをきっかけに、その後105周年まで毎年開かれていた同窓会のお手伝いを、声をかけられるままに続けておりました。

当時は会の仕組みや、自分がどういった立場でそこにいるのかも分からないままでしたが、実行委員会の会議にも出席を促され、ちょっとした意見もきいていただくようになりました。

その会議で、これからの同窓会をより発展させてゆくにはどうすれば良いのかが話し合われたとき、「某私立中高の同窓会は、50歳を迎える卒業生が中心になって企画運営され、大変活気のある会になっている」と知人に聞いたこととお話しました。

そして堀川高校もそうした仕組みを採り入れ、還暦を迎える卒業生有志が担当すればというのが私の意見でした。60歳は会社では定年、こどもの自立が見えてくる頃。第2の人生も視野に入り、昔のことが懐かしく思え、同窓会に関わることもマイナスにはならないのではと。ちょうどその頃25期生で還暦同級会の計画をしており、その幹事グループが、106周年同窓会事業を引き受けてくれそうと提案させて頂いたところ、承認されました。

その後新たに、次年度、次次年度還暦を迎える卒業生を4月の同窓会に無料でご招待し、今後の同窓会実行役の新たなメンバーを迎えていく仕組みも加えられました。

それ以来、次の117周年同窓会まで、毎年新しい実行委員メンバーを迎え、魅力ある企画や同窓会誌が発行されているのは、周知のこととなりました。

また、予想通り106周年から、運営に有能なメンバーが続々と加わってきました。卒業生が集えるグルメ会やゴルフクラブ、婚活クラブなどもできて、堀川同窓会は進化を続けています。

こんにちは。高25期の長谷川ユリ（久保）です。

106周年同窓会ですが、学生当時親しんだフォーク歌手、ばんばひろふみさんをお迎えし、「いちご白書をもう一度」など懐かしい歌のミニコンサートやアフタヌーンビュフェを楽しみました。



日時：2014年4月19日（土）午後2時～
 場所：京都国際ホテル
 内容：
 1. ばんばひろふみ フォークコンサート
 2. 堀川賞授与式
 3. 小宴



ばんばひろふみさん「いちご白書をもう一度」



会場は京都国際ホテル



門川大作京都市長（当時）と
 実行委員 中村一郎、竹田賢司、長谷川ユリ他



堀川奨学金授与生徒を招き、市
 田ひろみ会長（当時）による堀
 川賞授与式

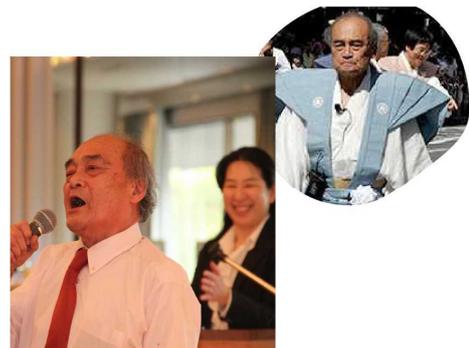


次年度担当学年、卒業50周年学年、
 及び新卒業生は招待者テーブルを
 儲け無料招待としました。

その年の同窓会誌は、中村、竹田、牧、長谷川が担当しました。内容は以下のものでした。

- * 第6期ご卒業横田早紀江さんインタビュー記事
 （北朝鮮拉致被害者横田めぐみさんの写真展紹介、他関連記事）
- * 106周年同窓会報告
- * 京都で活躍する25期生紹介18名
- * 107周年同窓会案内

この同窓会誌を振り返ると
 拉致被害者の方々の問題は遅々と進んでいません。早紀江さんの
 苦しみはこの10年間さらに続いていて、解決の糸口さえ見えな
 くなっていきます。このことの悔しさのみならず今は平和が危うく
 なり、大国のエゴや、独裁的なリーダーが目につき、将来の不安
 が拭えません。こどもたちが希望の持てる未来のためにも、不当
 に拉致された方々の帰国を諦めず訴え続けることの大切さ、思い
 を新たにしました。



締めは祇園山鉦連合会理事長（当時）吉田孝
 次朗さん（高7期）による、生徒会歌「みどり
 なす森」の熱唱

同級生の紹介記事では、みな、医療や経済、法律、保険、ファッションや美容、音楽、絵画、錦市場、飲食、蒔絵や装束、陶芸、和紙、歴史的有名寺院の住職、そして祇園祭の担い手と、まさに京都の暮らしや伝統や文化を担っていました。私たちの学年だけでなく、多くの堀川高校の卒業生が京都の町を支えているのだと実感したことを覚えています。

そして、当時取材に元気に応じてくれていた同級生の中に、この10年の間に亡くなられた方がおられ、大変残念で心から哀悼の気持ちを捧げます。

こんにちは、第107回同窓会の実行委員の高26肝付(服部)容子です。

私が母校に同窓会があるのを知ったのは、「HORIKAWA 100th」をもらった時で100周年イベント「小椋佳(歌談の会)」でした。平成17年12月17日KBSホール、その時は夜開催で御所の辺りの暗い夜道を歩いたのを覚えています。それから数年間は、大学も職場も大阪だったのであまり気にも留めていません。還暦幹事制度が出来た翌年、同窓会案内が届き、「高26期の方は招待」と書いてあったと記憶しています。やはり「お金の力には弱いもの」で同級生が30人ほど参加していました。これが縁で現在に至ります。その30名でまず卒業以来初めての同期会を企画し、107回同窓会の開催にこぎつけました。

107回同窓会を企画に当たり、何かインパクトのある企画を、そして各界で活躍している堀川卒業生を招聘する企画を考えました。

1. 堀川音楽高校音楽ホール

堀川音楽高校の音楽ホールは国内最高水準の音楽ホールを有する施設として知られています。堀川音楽ホールを利用して戴き、プロの音楽家として活躍されている卒業生でのカルテット演奏を企画しました。



堀川音楽高校音楽ホール

2. 落語家桂塩鯛さん

桂米朝一門で活躍中の桂塩鯛は高校25期卒業の山下真史さんです。

3. 能楽師井上裕久さん

観世流シテ方の井上裕久は高校26期卒業の井上周久さんです。

4. 京都大学名誉教授橋本弘藏さん

橋本先生は高校17期卒業で、京都大学生存圏研究所の宇宙太陽光発電の第一人者です。



107同窓会実行委員（左から）肝付（服部）容子、福井彰代、大八木一壽

例年の会場だった京都国際ホテルが閉館になる予定だったので、会場探しから始め、「ホリオン」（堀川音楽高校音楽ホール）を皆様にご披露する機会だと思い、イベントと式典小宴の会場を分けました。

ホリオンからANAクラウンホテルまでは近く、徒歩2、3分の距離ですが、参加者には高齢者も多く、ご移動戴くのに気を使ったこと思い出されます。

プロデュース	藤本信行（高32音）
チェロ	雨田一孝（高29音）
バイオリン	村瀬理子（高26音）
バイオリン	木下真希（高48音）
ピアノ	佐渡春菜（高54音）

堀川音楽高校卒業生カルテット



落語 桂塩鯛さん



橋本弘藏名誉教授の講演



能楽 演目は橋弁慶

2015年4月18日(土)

●1部:イベント(堀川音楽高校音楽ホール)

●2部:式典小宴(ANAクラウンプラザホテル)

イベントでは、能楽・落語・演奏会、ホリオンは音楽ホールなので落語・能楽の前準備に高座セットをレンタルし、舞台設営に同級生が黒子の役で40年ぶりだとは思えないぐらい協力したのを覚えています。

式典小宴では、橋本教授による「CO2を排出しない宇宙太陽光発電」の公演を企画しました。

最後になりますが、10年ひと昔と言いますが、今や人生100年、現役生活65才、70才になっています。還暦+αの実行委員に当たられた方は忙しい中、大変だと思いますが、そんな時にこそ若かりし頃に戻って昔の仲間と顔を会わせ、人生をリセットする事も大切だと思います。

堀川同窓会発足、名簿編纂事業に並々ならぬご尽力を尽くされた諸先輩の方々に感謝をすると共に、私たち後輩の皆様が一致協力し、この伝統を末永く繋いでいきたいと思っています。

新制同窓会10年史 第108回（担当高27期）

皆様、こんにちは！。

第108回堀川高校同窓会は、高27期が担当し、実行委員長上田と副委員長下出が主幹となり、同期同窓生有志により、下記の要領で開催致しました。

日時：平成28年4月16日(土)

場所：京都全日空ホテル 平安の間

次第：

- ・ 市田ひろみさん(当時会長)の開宴のご挨拶
- ・ 堀川賞として5名の卒業生表彰と今後の抱負を発表
- ・ 門川大作(当時京都市長・現同窓会長)様の「市長こぼれ話」をご講演
- ・ イベント 祇園の老舗クラブ、ラポーオールスターズによる懐かしのオールディーズのナンバーを生演奏して頂き、飛び入りで、(堀音)の藤井美智様のトランペット演奏と続き、石田哲雄さん(当時副会長・現相談役)ご指導による、「緑なす森」を全員で大合唱
- ・ 最後に高27期の高屋様のもと童謡「ふるさと」を、全員で大合唱
- ・ 山口富藏さん(前同窓会長・現名誉会長)のお開きのご挨拶



実行委員長 上田孝 (左)
副委員長 下出康広 (右)

108実行委員全員集合



市田ひろみ会長 (当時) のご挨拶

門川大作市長 (当時) の「市長こぼれ話」



藤井美智さん (高35音) の
飛び入りトランペット演奏

我々、高27期生は50歳より5年毎に学年同窓会も開催しております。そのお陰で全体同窓会の幹事となった60歳の時には、横の繋がりもしっかりと出来ておりましたので、準備や当日受付等のスタッフも、皆さん快く引き受けていただき、スムーズに開催出来ました。

多感な青春時代を、堀川高校にて共に学び、遊び、今、こうして、また、学年を越えて集まれて、新たな交流が出来ますことを、とても嬉しく思います。

ただ、これは、会長様をはじめ、幹部の方々や実行委員等、関係者の皆様の努力のお陰でございます。



祇園の老舗クラブ、ラポーオールスターズ

改めて、幹事学年を代表いたしまして、御礼申し上げます。

今後とも、末永くこの同窓会が続いていきますように、心から祈念いたします。

高27期実行委員 上田、能勢

新制同窓会10年史 第109回（担当高28期）

こんにちは、第109回の実行委員の高28 荒木泰博です。

高校の近くに住まいしているので、実行委員の方に声をかけていただいたところ、市田ひろみ会長に20年来業界でお世話になっていたもので、受けさせていただくことにいたしました。

同級生の生田 誠君と西岡節子さんに手伝って貰い、同窓会を催しました。

第109回堀川同窓会

日時 平成29年4月29日（土）

場所 京都ロイヤルホテル&スパ

市田ひろみ会長のあいさつで始まり、恩田 徹堀川高校校長のご挨拶 堀川奨学金受賞報告 京都堀川音楽高校の山脇 護校長の乾杯の後、宴会に移りました。宴会では、同級生の宮川町ふく葉（藤原温美 高28）の祝舞や宮川町芸舞妓の踊りの披露で会場の雰囲気もたいへん盛り上がりしました。また私の三男の堀川高校同級生の漫才師ネイビーズアフロ（皆川勇氣 羽尻紘規 平成23年卒）の登場ですます盛り上がりしました。山口富蔵理事の中締めのと和やかに終了することが出来ました。

総勢170名の皆様にご参加いただき楽しいひと時をご一緒することが出来、感謝申し上げます。



上記の写真は110周年記念誌に載せた堀川高等女学校の写真です。絵葉書コレクターの生田 誠君のコレクションです。

新制同窓会10年史 第110回（担当高29期＋事務局）

第110周年記念大会（葉加瀬太郎コンサート）

平成30年、堀川同窓会は110周年を迎えました。

同窓会では100周年記念大会の「佐渡裕コンサート」に続き、大きなインパクトのある記念大会を企画しようと2年前から検討を開始し、堀川卒業生である「葉加瀬太郎コンサート」と決定しました。

しかし、葉加瀬さんとのコンタクトポイントもない状況でしたので、前年度の会報誌に「活躍する卒業生」として葉加瀬太郎さんを取り上げ特集を掲載することとし、京都市在住の葉加瀬さんの母上を訪ね取材を依頼することから始まりました。

琵琶湖ホールにて「活躍する卒業生」の取材させて戴き、漸くカウンターが出来ましたこと思い出します。

また、この企画は同窓会ではこれまで経験したことのない大規模事業となるため、市田ひろみ会長（当時）の元、110周年事業特別プロジェクトを立ち上げました。

110回は新制同窓会の還暦学年の順番では高29期の担当となりますが、記念事業のため事務局主体で高29期実行委員とともにプロジェクトチームを結成しました。

【110周年事業特別プロジェクト活動】

1. 会場の決定

- ① コンサートは京都市で最大の収容人数があるロームシアターメインホール（2000名収容）
- ② 懇親会はロームシアター近くで最大の収容人数があるみやこメッセ

2. 日程の決定

- ① 葉加瀬さんの空き日
 - ② ロームシアターメインホールの空き日
 - ③ みやこめッセの空き日
 - ④ 同窓会開催は土曜日または日曜日または祝日
- ※上記①②③④を満たす唯一の日として、2018年6月10日（土）と決定

3. 企画

コンサートはロームシアターで行い、懇親会には葉加瀬さんも参加戴くこととし、懇親会を盛り上げるためにいろんな企画を考えました。

- ① 堀川高校現役邦楽部によるウエルカム演奏
- ② 葉加瀬さんの恩師、同級生のサプライズ登壇イベント
- ③ 吉本興業で活躍するネイビーズアフロ（皆川勇気、羽尻紘規、高63期）による漫才
- ④ 宮内眞理（高43期）さんによる桑原専慶流の生け花実演

4. 広報・販促

この企画実現には莫大な費用がかかります。

同窓会では未知の金額であり確実に2000名集まるかどうか不安でリスク管理も重要でした。とにかく収入を確保するためのいくつかのアイデアを考えました。

- ① 先行予約。これまでの経験から2000名は難しいと考え、同窓会報誌面での案内に先立ち、先行予約募集をしました。
- ② 認知度向上のため、市内の繁華街にポスターを貼りました。
- ③ 寄付金御礼品の制作。ご寄付戴いた方へお礼として、たちぎちのタンブラー（記念ロゴ入り）を贈呈し寄付金のお願いをしました。
- ④ 記念グッズの制作。記念ロゴを入れた時計、キーホルダー、タンブラーを制作し懇親会会場で販売し収益としました。



満席のロームシアター



現役邦楽部による
ウエルカム演奏

桑原専慶流の生け
花実演

ネイビーズアフロ
による漫才



最後に、110周年記念事業は盛大に成功裏に終了しましたが、我々の心配に反して、ロームシアターの定員を遙かに上回る参加申込みがあり、最終的には断腸の思いで抽選といたしました。ご参加いただけなかった会員の方には申し訳ない思いが残りました。

次回記念事業（120周年）も盛大に執り行いたいと思いますので、ご期待いただきたいと思ひます。

新制同窓会10年史 第111 (担当高30期)

第111回同窓会 実行委員長を務めました高30期卒 伊藤文彰が開催時の様子をお伝えします。

2019年4月20日(土) 京都東急ホテル



実行委員長伊藤(右) 副委員長新実



同期の仲間たち(実行委員)



新実 彰平さん

第110回には節目の同窓会として多数の参加者が集まりました。その際に葉加瀬太郎さん見たさに初めて同窓会に参加した際に、先輩方に“来年の担当者がいない”とちょっと強引にお願いされ、断り切れずに渋々(今では感謝してますよ!) 実行委員長を引き受けることになりました。その後、小さな同窓会を何度も開催することで、とっても懐かしい先輩方や同級生に合うことができました。今では先輩や部活の仲間たち、同級生達と何度も会い旧交を温めています。何十年も合わなかった同期の人たちと、実行委員としてともに準備したことも楽しい時間でした。

前年の同窓会がすごく大規模だったので難しい面もありましたが、元号が令和に変わろうとする年だったので、「平成最後の堀川同窓会」と銘打ち、昭和～平成にかけて大活躍されてきた堀川OBの方をお招きして開催しました。

司会は副委員長の新実君のご子息で、当時関西テレビのアナウンサーを務めていた新実彰平さんに務めていただきました。

元文部事務次官の佐藤禎一さん(高12期卒)には「100年後をたゆたう」という演題にて、ご講演いただきました。その後、元NHK交響楽団の首席トランペット奏者、北村源三さんによりカッチーニの「アヴェマリア」など3曲を演奏いただき、和やかな雰囲気の中楽しい時間を過ごしました。



佐藤 禎一さん



北村 源三さん

第113回

堀川同窓会

～オリンピックイヤーだよ!! 堀川同窓会2～

日時：2021年11月20日(土) 正午より

会場：ホテル日航プリンセス京都

113回を担当した私達は、1960年生まれです。2020年には60歳を迎えるため、前年よりどのような同窓会にしていこうか計画を立てていました。

2020年といえば、東京オリンピックが開催される年!!しかも、堀川高校卒業生の山西利和選手が競歩に出場するとあっては、これをテーマにするしかないだろうと準備を進めておりました。2020年4月に堀川同窓会を開催し、山西選手に大きなエールを送る予定でいました……。

ところが、その案内をお送りしました後、新型コロナウイルスのため、緊急事態宣言が発令され、東京オリンピックも延期されることとなりました。当然、私達の計画した堀川同窓会も中止となりました。幻の第112回堀川同窓会です。

明けて、2021年。オリンピックまでに同窓会ができないか模索しましたが、オリンピックが開催された後の秋に第113回の同窓会として行うことができました。

堀川高校時代に陸上部監督として、山西選手を育て、卒業後も支援を送り続けておられた船越康平監督をお招きしてお話をいただきました。山西選手の競歩との出会いからオリンピックメダリストの栄冠までの軌跡。途中、話題の山西選手がオンラインで登場し、会場の皆さんと会話のキャッチボールもできおおいに盛り上がりしました。

音楽科卒業生の西谷姉妹のピアノ連弾も大好評で、エンディングには史上初、「堀川生徒会歌」をピアノ連弾の伴奏で歌うことができました。

異例づくしの第113回堀川同窓会が、コロナ禍の中、何とか盛況の内に開催できましたこと改めて皆々様に御礼申し上げます。

第113回堀川同窓会実行委員長 吉村 伸(高31期卒)

副実行委員長 中井いづみ(高31期卒)





ネビーズアフロ

〔左〕みちむ / 〔右〕はじり
堀川高校卒業の吉本興業(大阪)の選手コンビ。日本をとりまくる人気もの、「いつか探偵ナイトスクープ」の探偵になります！！
『M-1グランプリ』準々決勝、「キングオブコント」準々決勝、「NHK上方漫才コンテスト」優勝、「上方漫才大賞」新人賞など数々の賞を受賞。

写真・資料：吉本興行



もも

〔左〕まもる / 〔右〕せめる。
NSC大阪36期生。金髪にヒゲの風貌のまもると、黒髪にメガネのせめる。あるあるネタを展開するしゃべくり選手。M-1グランプリファイナリスト。まもるは第114回同窓会実行委員長高32期生小林の教え子。



天才ピアニスト

〔左〕竹内知咲 / 〔右〕ますみ
NSC大阪38期生。ますみは上沼恵美子の物真似を得意としており、本人「公認」を自負。竹内知咲の父は堀川高校32期生。
『R-1グランプリ』『キングオブコント』『THE W』など出演。受賞歴も多数。

Life,Love,Laugh
みんなで笑おう

コロナ禍の影響による暗い雰囲気からの脱却

コロナ禍や不幸な戦争、ネガティブなことが様々に起こる、予想もつかない時代。それでも、こんな今だからこそ、みんなで、笑い、肩を叩き、勇気づけ合いながら、明るい未来に果敢に進みたいと思います。——— テーマは「笑」。
先輩方や後輩のみなさんが人と人のつながりを確かめながら、
コロナ禍の影響による暗い雰囲気からの脱却を目指して、同窓のひと時、愉しく「笑おう！」です。

- ① 委員長 川瀬浩史 副委員長 熊尾律子
- ② 2022年10月8日 京都ブライトンホテル
- ③ コロナ第7派の最中の同窓会、参加者が過小になることを危惧していましたが、門川市長はじめ150名の多くの同窓生の出席を戴き、大盛況のうちに開催することができました。今回はコロナ渦により暗い現実を笑って明るく乗り切るために「笑い」をテーマに吉本興業から卒業生でもあるネビーズアフロをはじめ堀川高校に縁のある天才ピアニスト竹内知咲、ももの3組5名を招き優雅に楽しく同窓会を挙行致しましたところ、盛況に終了することができました。これも役員をはじめ同窓生諸氏のご理解ご協力の賜だと感謝しております。



第115回 堀川同窓会



開催日 2023年9月16日(土)
 会場 ホテルグランヴィア京都 古今の間
 参加者 147名
 企画 幹事学年の吉田道利さん(国立天文台副台長)による講演
 幹事学年の山根ひろみさんと音楽科卒の福谷一美さんによるハープ&フルート演奏



第115回堀川同窓会のタイトルは『星響』と致しました。

題字につきましては、私達33期のクラス担任もして戴いた当時の書道科の先生にお願いしました。

企画は『宇宙(cosmos)への誘い(いざない)とハープの調べ』というテーマを掲げました。

当日の司会者だけでなく出演者(講演の講師や演奏の奏者)を私達33期卒業生から選出するという、手作り感あふれる同窓会をコンセプトに立案推進しました。

まず国立天文台の副台長による宇宙の魅力についての講演を聞いて戴き、その余韻のまま、宇宙をイメージしたハープ&フルートの演奏を宇宙映像とともにお届けして、耳はもちろん目でも魅了していただく、という企画内容にしました。

楽曲の選定など企画を進めて行くにあたり、出演者を交えた打合せも幾度となく重ねることにより、同期の絆を深めることができたと感じています。



講演の様子



津田(松井)圭子(高33) 谷村(清瀬)浩子(高33)
 司会進行の二人



宇宙をイメージした映像を添えて
 ハープとガラスの笛/フルート の演奏



後列右から、実行委員:井上孝治, 実行委員:近美剛生, 講師:吉田道利(高33), 実行委員長:松井隆史, 実行委員:大野(桑原)朝代, 実行委員:篠崎(品川)由加里, 実行委員:佐々剛,
 前列右から、ハープ奏者:山根ひろみ(高33), フルート奏者:福谷(的場)一美(音30), フルート奏者のご友人(音31)

第116回 堀川同窓会

- ・開催日 令和6年8月7日（土） 12時開会
- ・会場 ホテルグランヴィア京都 「源氏の間」
- ・実行委員紹介



左から

- ・山崎良一（実行委員長）
- ・鈴木秀明
- ・高島知江（副実行委員長）
- ・大津博敬

その他、当日スタッフとして20数名の方々が携わっていただきました。

・企画内容

テーマ：「繋がり」

世代を超えた人々の繋がりを大切にしたい想いから、音楽を題材にして、世代を超えた懐かしいメロディ〜を通して、その時代の皆様の思い出を楽しんでいただく内容を企画しました。



京都の音楽教育に親子2代で活躍された先生方に師事された「リラ会」の有志にご出演いただきました。



・感想

堀川高校の卒業生で日本や世界で活躍されている音楽家が属する「リラ会」の方々に、多彩なジャンルの音楽を演奏していただきました。

京都市歌や生徒歌、校歌なども交えて、「堀川」というご縁で繋がっている参加者の皆様に大いに楽しんでいただきました。

